

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

宮原中学校区 校番 11 学校名 呉市立坪内小学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>みずから ひらく ～夢と志をもち よりよく生きる 子どもの育成～ 小中一貫教育目標 【 夢を 志に 】</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p><ミッション> 知・徳・体の調和がとれ、主体的で自律した児童を育成することで、自らの将来を切り拓き、地域に貢献できる人材をうむ学校となる。 <ビジョン> ・児童が夢や目標に向かって、自信をもって取り組む学校。 (将来の学校像) ・児童が安心してできる学校環境で学び、生きる力(主体的で深い学び・豊かな心・たくましい体)がつく学校。 ・児童、保護者、地域、教職員が誇りに思う学校。</p>
-----------------	---	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点</p>	<p>学校教育目標の実現へ向けて目指す資質・能力を育成するために、児童に「自分や地域の良さを自覚させて自信とし、論理的にものごとを考えて発信・実行していく力を育む教育」を実践した。その結果、児童の思考力や主体性の向上が図られ、学校生活のあらゆる場面で生き生きと活動する児童の姿が多く見られるようになっている。 中期経営目標2年目の本年度は、論理的に思考・判断して、積極的にアウトプットしていく表現力を付けるとともに、自らを律しつつ、自らの意志で責任をもち行動していく児童を育てたいと考える。そのために、「論理的思考力を高める」研究を更に深め、児童が主体性を発揮できる場を計画的に仕組んでいく。また、学校課題である長欠児童等への関係機関・家庭を巻き込んだ実効的な対策を講じていく。</p>
-------------------------------------	---

<p>育成すべき資質・能力</p>	<p>知識・技能 論理的思考力・判断力・表現力 主体性・協働性 高い志・向上心 郷土愛</p>
-------------------	---

<p>評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)</p>	<p>自己評価</p>
--	-------------

重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(10)月					
						10月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	(賞) 主体的で深い学びの育成	○論理的思考力・判断力・表現力の育成(賞)	○「考える授業」づくりの工夫 ・ねらいに迫る課題設定と発問 ・根拠を明確にした考えの表出と場の設定	・学期末テスト正答率 ・正答率 30%未満の割合 60%以上の割合 ・全国学力調査における通過率(国・算ともに) ・総合学力調査における全国平均以上の割合(国・算ともに)	0% 80%	1% 96%	99% 120%	B A	2% 89%	98% 111%	B A
**	(賞) 豊かな心の育成	○主体性・自律心の育成(賞)	○主体性を高める取組の工夫 ・TKKJ活動の充実(教師発・児童発) ・児童が「～したい」と思う委員会・係活動 ※高学年を中心に広げる。 ○自律心を高める取組 ・「学びのルール」の定着(時計を見て動く) ・計画的な家庭学習(毎日・期限までに宿題提出) →中学校の期末テスト期間に「宿題がんばろう週間」を設ける。	・中学校区児童アンケートの主体的な活動、学びのルールに係る項目の肯定的回答(4段階のうち「とてもあてはまる」)の割合	85% 90% 85%	56% 65% 65%	65% 72% 72%	C C C	57% 65% 66%	67% 72% 77%	C C C
*	(賞) たくましい体の育成	○体力の向上 ○生活習慣の向上	○主体的・継続的に運動する取組の工夫 ・遊具貸出や縦割り班遊びなどの外遊びの場の工夫 ・新体力テストを受けての体育科授業や業間体育の改善 ○電子メディアコントロールの取組 ・保護者、教職員研修(SNS、ゲームの最新事情) ・中学校区全体での取組	・新体力テスト種目率 ・げんきっずカード 21時以降NO!電子メディア 早寝早起き睡眠時間坪内スタイル	80% 70% 70%	76% — 100%	95% — 143%	B — A	85% 72% 67%	106% 103% 96%	A A B
	(賞) 働きやすい職場づくり	○ワークライフバランスの確保(賞) ○子どもと向き合う時間の確保(賞)	○研修の充実 ・タイムマネジメント研修 ・業務改善に係る研修 ○実効的な業務改善の継続 ・積極的な事務支援 ・サポート体制の確立	・月の時間外勤務45時間を超える教職員の割合 ・児童と向き合う時間の確保ができたと感じる教職員の割合	50%以下 85%以上	18% 80%	136% 94%	A B	17% 80%	134% 94%	A B

[k:評価]
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

